

2019年12月2日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- トルコとリビアの合意・イランの動向・ガザ・イスラエルの繁栄ほか -

https://youtu.be/25I23ieK_Us

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ガリラヤの自宅から、ライブをしています。

オランダでは、シュムエル・アウェイダ牧師と私とで、素晴らしい週末を過ごしました。約1600人の人々で、あちらのバジリック・コンベンションセンターはぎゅうぎゅう詰めでした。オランダ全土やベルギーなど、各地から参加された人たちです。そして、私たちはこの大切な国の、胸を躍らせている信者たちにたくさん会えて、ものすごく祝福されました。この国は、コーリー・テン・ブーム（第二次世界大戦中に、多くのユダヤ人をナチスから助けたオランダ人クリスチャン。ホロコーストの生存者）など、私たちにとって大切な人々を生み出してくれました。くり返しますが、素晴らしかったです。主は本当に祝福してくださいました。

自宅に帰って来られて、うれしいです。昨夜はフライトの遅れで、予定より遅く帰宅したので、昨夜はフェイスブックライブができませんでした。我慢して、今日視聴してくださって、ありがとうございます。

では、現在起こっていることから始めたいと思います。まず初めにお伝えするのは、昨夜の時点で、トルコとリビアが、ギリシャに対抗するために海上管轄権に関する合意に署名したことです。中東の地図を見れば、トルコが北、リビアが南に位置していることが分かります。両国の領海は、基本的にくっつき合っています。そして、それはギリシャの領海とキプロスの領海の間にあります。彼らは、要するにギリシャやキプロスの人々にこれ以上掘削をさせないために、ある種の遮断領土を完成させました。基本的には対抗策と呼ばれるもので、ギリシャによる掘削を止めるためです。それはこういうことです。基本的に彼らはこう言っているのです。

「我々が石油とガスを手に入れることができないなら、お前たちもダメだ」
つまるところ、そういうことです。すごいことだと思います。なぜなら、石油とガスの問題がものすごく重要で、それが中東の状況を揺り動かしていることがはっきりと分かるからです。ご存じのように、私は、そもそもこれがロシアを中東に連れて来た『あごの鉤』だと思っています。

わたしはあなたを引き回し、あなたのあごに鉤をかけ、あなたと、あなたの全軍勢を出陣させる。それはみな武装した馬や騎兵、大盾と盾を持ち、みな剣を取る大集団だ。（エゼキエル38章4節）

そして、それがこれから起ころうとしている戦争の主因になると、私は信じています。エゼキエルが言ったように、人々は来て、イスラエルに侵略します。繁栄していて、平安なイスラエルに。なぜか？略奪し、盗み、戦利品を獲るために。私は、これがガスと石油だと思っています。それが本当の目的です。彼らはファラフェル（コロッケのような料理）シャワルマ（肉料理）とハルヴァ（お菓子）なんかには興味はありません。彼らは私たちのガスと石油に興味を持っているのです。それが48時間前に起こったことです。

皆さん、世界のメディアのほとんどが扱っていないことについてお話ししましょう。それはイランの状況です。皆さんはおそらくそこで何が起きているのか理解していないでしょう。しかし、イランの暴動や反乱は、1979年に前政権を倒したものよりもひどくないとすれば、それに劣らずひどいものです。これらの暴動は、イスラム革命の始まり以来、大衆による最もひどい暴動です。皆さん、私がお話ししているのは、あなたも私もこれまでに聞いたことがないような状況です。私は、実際に起こった出来事をお話ししたいと思います。まず第1に、イランは40年前のイスラム革命以来、最も犠牲者の多い政情不安を経験していると言

われています。彼らは200人が死亡したと言っていますが、400人以上が死亡しています。とにかく、ほんの数日前にマシュハドの町で何が起こったのかをお話ししましょう。その町だけでも、お話ししているのは19歳から26歳までの失業者や低所得者の若者のグループのことですが、目撃者の陳述や撮影された録画によると、マシュハドの南西部だけで、目撃者や医療従事者の言うところでは、

「イスラム革命防衛隊のメンバーは、40~100人のデモ隊を取り囲み、射撃。そして殺しました。彼らのほとんどは、避難所を求めて沼地にいた非武装の若い男性たちでした。彼らは沼地のサトウキビがある所に非難していました。彼らは逃げましたが、警察は彼らを取り囲み、まさに彼らを処刑しました」

そして、ここだけではありません。私たちは、ただ一つの町の100人について言及しただけです。あちらのメディアは沈黙しています。世界中のメディアも、何も言わないようにしています。もしもパレスチナ人がイスラエルによってひとりでも殺されれば、- そんなことがないことを願いますが - 世界は大騒ぎするでしょう。何百人ものイラン人が射殺されています。これらは若いイラン人です。誰も何も言っていません。

イラクの状況も、現在、それと同じくらいよくないと言えます。状況は非常に悪く、イラクの首相は、そのために辞任しなければなりません。あまりにもヒドイ状況なので、イラクの地方部族は、もはや政府が自分たちを保護してくれるとは信じないことにしました。そして、それぞれの部族は今、完全に武装し、自己防衛をしようとしています。そして、私たちは今、部族間紛争が起こっているのを目にしています。そして、人々を撃っているのは「ハッシュド・アル・シャアビ」(Hashd al-Sha'abi)と呼ばれるイランの人民軍(PMU:親政府民衆動員部隊)で、彼らはイラクにいます。

それでも足りないと言うのなら、レバノンでイランの代理をしているヒズボラも、レバノンにいる抗議者たちを容赦なく、乱暴に攻撃しています。そして、レバノン、イラク、イランに共通しているのは、人々がみんなウンザリしているということです。それはアメリカに対してでも、イスラエルに対してでもありません。彼らは自分たちの国の政府と腐敗、悪、不正によって裏から手を回しているイランに対してです。それがあちらの現状です。

そこで皆さんが理解しなければならないのは、彼らにとって自国民に対処するための最善策は、非難の矛先をイスラエルにそらすことだということです。この手は常に使われてきました。だから、イスラエルはイランから来る何らかの攻撃に備えているのです。私は多くのさまざまなフォーラムにおいて、イスラエルの将官たちが何と言っているのか耳を傾けてきました。彼らは非常に高い可能性があると言っています。実際、私たちだけではなく、アメリカ人もそのように言っています。彼らはイランがイスラエルに対して、何らかの攻撃を開始しようとしていると予測しています。彼らは、イランがそれは数週間前にイスラエルが彼らにしたことのせいだと言うだろうと言っています。しかし、誰もがそれはイラン内部の問題から全く異なる別のものに注意をそらせようとするイランの手法であると確信しています。そういうわけで繰り返しますが、400人以上のイランの若者が自らの政権によって射殺されました。少なくともその4分の1は、ある一つの町で数時間のうちに、サトウキビ畑の中で革命防衛隊によって処刑されました。これは本当にひどいことです。私は、なぜこの話をしているのでしょうか？私は今日、それをツイートしました。イランは450人以上を虐殺し、2000人以上を負傷させ、少なくとも7000人を拘束しました。皆さんは、国連人権理事会からなにか聞きましたか？緊急会議も皆無、非難も皆無、事実調査のための派遣も皆無です。彼らがイスラエルに対して週ベースでやっていることは、全部ナンセンスです。彼らの本意は…。正直な所と、私は彼らがイラン人のことをどう思っているのか。イラン人の血には、それほど価値がないと思うのですか？会合を開いたらどうですか？非難したらどうですか？事実を調べに行ったらどうですか？何かしたらどうですか？緊急会議は？安全保障理事会は、どこですか。国連はどこですか。彼らは世界平和のために対処すると言いながら、何の対処もしません。

面白いことに、これだけではないのです。びっくりしますよ。イランがこういうことをすべてやっている間に、私はそれが明らかになったとき、オランダにいました。皆さん、用意はいいですか？いいですか、私は一生懸命、黙ってしようとしていますし、本当に、いうなれば行儀を良くしようとしています。でも、これ

については私はもう少しで自制心を失うところでした。私は奉仕のため、大切な信仰深い人々と交わるためにオランダに行っていました。そして、これが私が読んだことです。

ベルギー、デンマーク、フィンランド、オランダ、ノルウェーとスウェーデンは、貿易取引支援機関に加入する過程にある、と共同声明で表明しました。何の話かという、イランに対するアメリカの制裁を迂回する方法のことです。イランは何百という人を殺しています。そして、これらのヨーロッパ諸国が、それを非難する代わりにやっているのは、「私たちは、あなた(イラン)と取引をするための新しい方法を見つける」ということです。「私たちは、あなた(イラン)と何かをするために、アメリカの制裁を無視します」皆さん、私たちがどれほどの偽善を扱っているか、分かりますか？どれほど非人道的かを理解していますか？つまり、残酷さの度合い、無知の度合い…私は、今日、国連やEUが支持しているものを、どう表現したらいいかさえ分かりません。しかし、これはもう、完全に手が着けられません。普通の人でも、たとえあなたがリベラルでも、この状況が狂っているのが分かりませんか？私は、ただ驚いています。ただ、ただ驚いています。

それでは、話を別のことに移しましょう。これまでイランについて話しました。イラクとレバノンのことも話しました。ヒズボラの話もしました。そして、国連とヨーロッパの問題も話しました。では、イスラエルとパレスチナ人が取り組んできたことについて話しましょう。少なくともイスラエルとアメリカは、ハマス支配下のかわいそうなガザの住民を助けるための取り組みをしてきました。信じられないかもしれませんが、イスラエルは、パレスチナ人に医療手当を受けさせたいと関心を持っていました。イスラエルがガザで軍事作戦を行った時さえ、イスラエル自体がガザの人たちのための野戦病院を建設したのが始まりです。どうなったと思いますか？ハマスはガザの人たちをイスラエル軍の病院に行かせませんでした。しかし、もちろん結局は米國務省が提案をしました。アメリカが、イスラエルに残したすべての機器とそこに残されたすべてのものを使って、数年前にイスラエルによって設立されていたIDF(イスラエル国防軍)の軍病院から解体された基礎構造を基盤に、広さ10エーカー(40,468平方メートル)の病院を建てるというものです。米国の組織、フレンドシップNGOから寄贈された機器のことをお話ししています。また、このプロジェクトには、すでに100万ドル(1億円強)を投資しているカタールからの支援も含まれます。誰が反対していると思いますか？正解です。パレスチナ自治政府です。パレスチナ自治政府は、ガザにアメリカの病院を建てることに反対しています。なぜだか分かりますか？その理由を教えましょう。彼らがそれに反対しているのは、彼らがお金を管理できず、そのいくらかを自分のために取ることが出来ないからです。これは完全に米国の資金により、米国が運営し、イスラエルが運営を支援するものです。パレスチナの聖職者や当局者には、何の関係もありません。それで、彼らはそれに反対します。彼らは自分たちの市民を助ける方法に反対しています。私は驚いています。私が驚いているのは…。私はいつも、パレスチナ人の最大の敵はパレスチナ人だと言ってきました。彼らはチャンスを逃したことがありません。そして、これはまるで冗談みたいです。その大半がアメリカ人からなる非政府組織によって建設されようとしている病院に対し、パレスチナ人が最たる反対者であること。寄付が流入し、機器はそこにあります。ガザの人たちの世話をするために。そして、それに反対しているのは、パレスチナ自治政府なのです。彼らが何と言っているか、知っていますか？彼らは、「イスラエルはガザ地区からヨルダン川西岸地区のパレスチナ人を分裂させるために、それを許可しているのだ」と言っています。イスラエルでさえ、そんなことをしていないのに、ガザにある病院が、どうしてそのようなことを拒むことができるのでしょうか。まあ、それは明らかです。

いいですか。皆さんに一つお話ししましょう。私がエリコの副総督だった時、私たちは1994年にエリコから撤退しましたが、私たちはまず最初に、エリコからオスロ協定の実施を開始しました。私が最初に気づいたことの一つは、イスラエルがパレスチナ人のためにすべての税金を徴収することでした。そして、イスラエルはそれをパレスチナ人に返します。パレスチナには、それができなかったからです。私たちは税金を支払うために、二つの口座を与えられました。ひとつはパレスチナ財務省の公式な銀行口座で、もうひとつは、一部のパレスチナ指導者たちの私的な銀行口座です。私が何のことを言っているか、分かりますか？私が言っているのは、いつも指導者たちが自分用に受け取る分け前のことです。私たちは、それを知っていました。彼らもそれを知っていました。我々はそれを許してきたし、彼らはそれを享受してきました。そして、彼らはそれに慣れていました。そして、私たちは今、それらがゲーム終了する時点に来ようとしています。もうPLOの言うことには、誰も耳を貸していません。みんなパレスチナ自治政府には、何も頼っていません。彼らは

もはやワシントンのお気に入りではありません。トランプ大統領は、彼らをふさわしい位置に置きました。そして今、彼らはいかなる和平構想や取引にも反対しているだけでなく、病院という手段で与えられる、自分たちの市民への助けにも反対しています。なぜなら、そこでも彼らは自分たちの分け前を取ることが出来ないからです。信じられません。

そして、世界中で起こっているさまざまな状況の最中で、私がまたもや驚かされたことがあります。私たちは非常に多くのロケットに囲まれています。ここ数週間で500発近くのロケット弾がイスラエルに飛んできました。そのため、私が驚いたのは、スペクテイター・インデックスが2019年の最も強力な国々のリストを公開したのですが、アメリカが1位、ロシアが2位、中国が3位、ドイツが4位、英国が5位、フランス6位、日本が7位、イスラエルが8位。皆さんイスラエルは世界で8番目に強力な国です。今、それについて考えてみてください。私たちは、それらの中で一番小さな国です。地図上の小さな点です。ニュージャージー州の大きさです。人口はたったの920万人。残りの国々は、すべて何億人も的人口がいます。私たちは小さくて、しかも私たちの周りは戦いだけです。そして、時には私たちは自国内でさえも、部分的に戦いを抱えています。それでも、私たちの経済は最も急速に成長しており、私たちは世界で8番目に強力な国です。私が何を言っているのか分かりますか？

それでも足りないと言うなら、先日、数値が公表されました。たしか先週の終わりだったと思います。金曜日頃だったと思います。公表された数値は驚くべきものでした。イギリスのエコノミスト誌のことで、彼らが言ったことに注目してください。イスラエルのGDP（国内総生産）は、現在、45000ドルに達しようとしています。私たちはすでにフランスとイギリスを上回りました。もうすぐドイツに追いつこうとしています。皆さん、イスラエルはさっき言ったように、人口920万人です。しかし、私たちは人口の増加に関して言えば、最も急速に成長しています。イスラエルの人口は2.1%増加していますが、私たちより上位の国々は、現状維持か、縮小しているかのどちらかです。ヨーロッパは縮小しています。成長はしていません。イスラエルは毎年2.1%の成長を続けています。それに、私たちはドイツを上回ろうとしています。皆さん、2003年には、ドイツ、フランス、イギリスのGDPはイスラエルの2倍でした。2003年です。そして、イスラエルはすでにフランスを追い越し、イギリスを追い越し、今、私たちはもう少しでドイツのレベルに達します。信じ難いことです。

さて、それを私たちの手柄にするべきだと私が考えていると皆さんが思うなら、その考えは捨ててください。申し訳ありません。でも、私はそれが私たちの功績だとは思っていないし、もちろん、これが偶然だとも思っています。主はユダヤ人を一定期間、ある目的のために故郷に連れ戻されました。私たちは戻ってきました。そして、エゼキエル書36章で、主は土地を備えられました。

おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰ってくるのが近いからだ。（エゼキエル36章8節）

主は最初に土地を準備されました。彼は土地に肥沃になるように命じ、その後エゼキエル書37章で、主はヨーロッパの死の収容所、ヨーロッパの墓地から、彼らを救い出されました。そして、主は「わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く」と言われました。

神である主はこう仰せられる。わたしの民よ。見よ。わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く。（エゼキエル37章12節）

そして、主はそれを行われました。それからエゼキエル38章に入っていきます。そして、イスラエルに対して形成される同盟が、そこに記述される際に、イスラエルのことが繁栄している、平和な場所として記述されていることが分かります。

多くの日が過ぎて、あなたは命令を受け、終わりの年に、一つの国に侵入する。その国は剣の災害から立ち直り、その民は多くの国々の民の中から集められ、久しく廃墟であったイスラエルの山々に住んでいる。その民は国々の民の中から連れ出され、彼らはみな安心して住んでいる。(エゼキエル38章8節)

あなたがいくら考えても、イスラエルは住むのに良い場所ではないかもしれません。ひとつ言わせてください。ユダヤ人たちはヨーロッパを離れ、アメリカを離れています。彼らは祖国に戻ってきています。そこは彼らにとって、最も安全な場所なのです。私は世界中の他のどの場所よりも、ここにいる時が一番安全に感じると言えます。数字もまた、ここが住むのに良い場所であることを示しています。私たちは平均寿命についても、最上位の一つを占めています。また、自分の国で幸せだと言う人々の数でも、最上位の一つです。皆さん、私たちは預言の成就を目の当たりにしています。私たちは、これらのことがすべて起こっているのを目にしています。そしてもちろん、それは私がオランダで行った奉仕と、ミニストリーのことを考えさせます。私にはこう言えます。私は、世界中で多くの信者たちが、イスラエルから発信されることの多くに耳を傾けていると思います。イスラエル人が国外に出て教える時には、大きな責任があります。責任というのは、ある点で、たとえば望んでいなくても、この地から来る教えに対して、人々がある尊敬のようなものを持っていることが分かるからです。そして、敵はそれを知っています。敵はそれを知っていて、私は敵がイスラエルのキリストの体を攻撃しているのだと確信しています。とにかく、それはひどい、正しくない教義と偽りの教えによって。そして、彼らは今、残りの世界に向けてのキリストの体の主要な輸出源となっています。

私は良き友であるシュムエル・アウエイダ牧師を同伴してオランダに行き、恵まれました。彼はアラブ人の信者で、私はユダヤ人の信者ですが、キリストにあってユダヤ人とアラブ人の間には、何の違いもありません。ギリシャ人もユダヤ人も。聖書にあるように、キリストにあっては、ユダヤ人もギリシャ人も、男子も女子も、奴隷も主人もありません。キリストにあっては、違いはありません。キリストから離れては、大きな違いがあります。キリストから離れては、神はまだイスラエルに計画を持っておられます。ある機関、ある目的で。私たちは皆、それを知っています。しかしキリストにあっては、決してユダヤ人に異邦人以上の価値があることはありません。あるいはユダヤ人には、何か異邦人よりも優れた油注ぎがあるということもありません。皆さんにお伝えしたいのですが、私はオランダに招待され、たくさんの人が集まっているのを見て、謙虚な気持ちにされました。私は3つのメッセージを教えることができました。1つ目のメッセージは、「大いなる共謀」です。これはオランダ語の通訳無しで録音する時に公開したいと思っています。そして、私はイエスの再臨について、お話ししました。私は、世界中のほとんどのクリスチャンが、そのことについて完全に誤解しているか、あるいは混乱していると思います。彼らは次はイエスが来られると信じています。まず地球に来られて、それから私たちを連れて行かれると。それは間違っています。なぜなら、聖書はそうは言っていないからです。聖書は、最初に主が私たちを一緒におらせるために私たちを連れて行かれ(携挙)、その後、私たちは主の再臨のために、主と一緒に戻って来ると述べています(地上再臨)。ですから、大変な混乱があります。だから、そのメッセージは「イエスの再臨：私たちのため？私たちと共に？」そして、第3番目のメッセージは、「今が終わりの時」でした。私は世界中で起こっている非常にたくさんのかを説明しました。特に教皇が行っていて、バチカンが公表していることや、他にもたくさんの事柄について話しました。気候変動、性別の混乱、そしてもちろん、戦争や戦争のうわさ、などなど。信じられないくらいです。私は、そのメッセージを公開したいと思っています。でも、私はそこに行く度に腹痛を起こすんです。私には、この恐れが来るんです。それは、主がメッセージを祝福してくださるだけでなく、私が主の御言葉から正確に伝えていないなら、主が私を強く打ってくださるようなとの願いです。そして、それがすごく強く感じられたので、私は、私のメッセージの90%は、ただ聖句にしよう決めました。そこにいたオランダの人たちに聞いてもらって結構です。私は、とにかく次から次へと聖句を読んだんです。私は100枚のスライド付きのメッセージを携えていきますが、そのうち94枚は聖句で、6枚がなにかの見出しや写真になります。そして、私は皆さんに言いたいのですが、これが今日の私たちにとって最大の問題です。人々の関心は、彼らの見た「幻」とか、聖霊が語っているとかいう「感覚」などにあります。しかし、彼らはそれらすべてのことに対する聖書の裏付けを全く持っていません。そして、12月の後半に入ったら、新使徒的改革に取り組むつもりです。それが皆さんの多くを悲しませることになることは分かっていますが、し

かし、私は世界中で、またイスラエルでも起こっていることを、皆さんに警告する必要があると感じています。それは私自身も警戒しておかなければならないことです。

というわけで、私は全部お話ししたと思います。オランダでのミニストリーについてお話ししました。中東で起こっていることすべてについて、お話ししました。私たちにミニストリーを支援してくださって、本当にありがとうございます。明日は「ギビング・チューズデー（与える火曜日）」だと思います。これは、いろいろな会社が、あなたの寄付を倍増することになっている日なので、あなたが何かを寄付すれば、それに同額を追加してくれます。あなたがどこに住んでいて、どんな仕事をしているのか分かりませんが、私たちは前もって、あなたが支援し、サポートしたいものの一つとしてビホールド・イスラエルを考慮してくださることに感謝したいと思います。

そして、私たちににとって最も重要なことは祈りであり、私たちはあなたの祈りを必要としています。最近、多くの火矢が私たちに向かって放たれています。それで、私はただ皆さんに、お祈りをお願いしたいと思います。真理を話すための大胆さと、また忍耐のためにお祈りください。私たちは耐え忍ばなければなりません。私たちは御父の仕事を続けなくてはなりません。人々に偽りの教をを警告し、人々に備えを与え、この終わりの時に希望と励ましを与えるのです。オランダで会った人のひとは、アラブ人でした。彼はチュニジア出身です。70代の年配の男性で、私のところに来て、抱きしめてくれました。私の父であっても良いくらいの人です。私の父はチュニジアで生まれたんです。そして、彼は私を抱きしめてくれました。私はアラビア語を知っています。私はエリコで軍役を務めたので、軍でアラビア語を勉強しました。それで、私たちはアラビア語で話しました。そして、私はその男性のイスラエルに対する愛に感動しました。彼は40年前にオランダに移り住んで、家族も子どもたちもいます。でも、とにかく彼はイスラエルをとっても愛していて、こう言います。

「私は来年、50回目（40回目だったかもしれませんが）の結婚記念日にイスラエルに行きます。そして、私は本当に、そこであなたに会いたいんです」

これこそ本物です。私たちは抱き合いました。そして、カンファレンスの途中で彼が私のところに来て、「私のために祈ってくれませんか」と言うのです。そして、彼が私に祈りを求めているなんて、信じられませんでした。すべて他の話では、アラブ人とユダヤ人は互いに憎み合わなければならないでしょう。なのに、私たちは一緒に、神の御言葉を愛しているんです。彼がイスラエルを愛しているのは、彼が神の御言葉を愛しているからです。イスラエルを偶像化しているからではありません。実際、私が人々に警告することの一つは、イスラエルを偶像化せず、聖書的な方法でイスラエルを愛することです。そして、メシアと救いへの唯一の道を、彼らに教えないでおかないことです。そういうわけで、素晴らしかったです。そのカンファレンスでは、他にもとっても素晴らしい経験がたくさんありました。

くり返しますが、私は皆さんのお祈り、支援、このミニストリーへの愛に感謝したいと思います。そして、私の家族、子どもたち、妻、そして私のチームとその家族のために祈ってくれてありがとうございます。翻訳の話すれば、私たちは拡大しています。14言語による14の異なるYouTubeチャンネルができています。それは祈りの答えです。だから、もう一度お礼を言いたいです。神の祝福がありますように。そしてやはり、神の御言葉から離れないでください。神の御言葉から離れないでください。そして今後、数週間で良くないことをたくさん聞くこととなります。たくさんの良くない教をを。私たちは物事を暴露していきます。私は皆さんには、すべてを確認してほしいと思います。良いベレヤ人ようになって、すべてを聖書で確かめるのです。牧師が有名で、あなたは彼が言ったことや教えたものについて素晴らしいことを聞いたことがあります。そして、彼の教会が素晴らしくても、これが神から出ているとは思わないでください。敵もまた、光の御使いとして変装しています。私たちは1940年代から50年代、60年代に始まった、良くないものをたくさん見ていくこととなります。それらは最終的にアメリカで成長し、今では全世界、文字通りに影響を与えています。だから、今月後半に、それを扱うことにします。

いいでしょう。では、アロンの祝福で締めくくりますが、まず、その前に私たちのウェブサイト beholdisrael.org で、私たちのニュースレターに登録してください。インスタグラムでフォローしてください。Behold Israelです。フェイスブックもBehold Israel。ユーチューブもBehold Israel。そしてツイッターもBehold Israelです。

はい。では、アロンの祝祷で、皆さんを祝福させてください。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/英語)

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。シャローム。
そして、平和の君、平和の主が、今、そして永遠に、どこにでもあなたに平安をくださいますように。
その御名はイエシュア、彼は私たちの救いです。ですから、イエスの御名によって祈ります。
私たちは偽りの教えに反対して祈り、偽りの教義に反対して祈り、偽りの霊に反対して祈ります。
そして、私たちは主の御名を伝え知らせたいです。
それができる唯一の方法は、私たちが必ず、主の御言葉を広めることです。
イエスの御名によって祈ります。
アーメン。

アーメン。愛しています。ありがとう。
神の祝福がありますように。引き続き、私たちとつながっててください。
おそらく、来週、またお話しします。
シャローム。

バイバイ



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.12.09 (Mon)